

総合病院 コロナ対応 87床に 青梅市でも患者数が100名超

人員や機材の確保が課題

市内の「現在の患者数」は、8月6日に100名を突破し、高い水準が続いています。青梅総合病院は、8月6日、新型コロナ患者を受け入れるベッド数を49床から87床へと大幅に増加させました。感染拡大がより深刻な都内各地域からの患者の受け入れも行っています。

今後、さらなる感染拡大と、政府が「中等症の患者も自宅療養」としたこと、より症状が重い患者の入院が増える見通しで、87床を稼働させるだけでも、人員や機材の確保が大きな課題となります。

五輪強行、対策には背

日本共産党青梅市議団は、「検査体制の拡充、五輪の中止、営業や医療機関への支援の強化を」と求めてきました。ところが、政府や東京都は、五輪を強行したうえに、安易な「自宅療養方針」の一方で、無症状者の検査など、感染拡大防止対策には、いまだに後ろ向きです。

さらに、問題の根底にあるのは、長年にわたって医療を切り捨ててきた政策です。菅・自公政権は、ベッド削減や医療の負担増計画をやめ、医師・看護師などの養成策や医療機関への支援こそ、強めるべきです。

新 休日・平日夜間診療所が完成

昨年6月、党市議団は、新型コロナ対応に苦慮していた地域の診療所や発熱患者さんの声を受け、「発熱外来の確保、設置、休日診療所の強化」を要望しました。

市は国の交付金を活用し、9月に新休日診療所の建設を決定。その後、工事が進められ、今年7月2日、市の健康センターの横に、新しい診療所が開設されました。

新診療所の電話番号は
0428-20-7708

発熱者は別入口

新診療所は入口が2ヶ所あり、発熱があるかどうかで入口が別れます。換気も強化され、5分に1回は室内の空気が入れ替わります。



これまでは、健康センター内でしたが、独立した建物になりました。

パラリンピックは中止し、コロナ対策に全力を！



日本共産党 青梅市議団

青梅市議会議員

井上たかし

活動報告 2021年8月13日号

ご連絡は090-8489-5260

inouetakashi99@gmail.com



感染 原則自宅療養の政府方針

在宅死 次々起きかねない

1930
BS-TBS
報道1930



共産党・小池書記局長批判

日本共産党の小池晃書記局長は8月2日夜、BS-TBSの番組「報道1930」で、政府が新型コロナウイルスの感染が急増している地域では、入院対象者を重症者や重症化リスクの高い人に絞り込み、それ以外の患者は原則自宅療養とすることを可能とする方針を公表したことについて、「在宅死が次々に起きかねない、あまりにもひどいやり方だ」と厳しく批判しました。

小池氏は、「入院できない患者が増えている事態を正当化するために、なし崩し的に現状に合わせて原則を変えようとしているとしかみえない」と指摘。自宅療養者の状態の把握や容体の急変への対応が必須だが、パルスオキシメーターを配ったとしてもその読み取りを本人任せにしているなど、必要な体制が整備されていないとして「在宅死が起きかねない」と批判しました。その上で、「少なくとも『原則入院』と言ってきたことを『原則自宅療養』に転換するのであれば、国会を開いて議論すべきだ。大転換を専門家の意見もまともに聞かずに決めているのではないかと述べました。

司会の松原耕二氏が、方針転換に関わって政府は専門家の意見を聞いているのかと質問。厚生労働省の専門家組織「アドバイザリーボード」メンバーの和田耕治・国際医療福祉大教授は、「私は具体的に存じ上げない。他のメンバーに（相談が）あったかも承知していない」と答えました。

東京医科歯科大の田中雄二郎学長は、入院となる「重症化リスク」の基準について、「どういう人が重症化するのか知見が十分でないため、線引きは現実的ではない」と指摘しました。

コメンテーターの堤伸輔・元『フォーサイト』編集長は、重症化した患者を集中管理する仕組みもないままに方針転換することは、「原則の大転換というだけでなく“事実上の敗北宣言”だ」と政府の対応を批判しました。

症状	これまで	新たな方針
重症	入院	入院
中等症	入院	重症化リスク高い人は 入院 。それ以外は 自宅療養が原則 <small>やむを得ない場合は宿泊療養施設</small>
軽症	宿泊療養施設 <small>やむを得ない場合は自宅療養</small>	自宅療養が原則 家庭内感染の恐れなど、やむを得ない場合は宿泊療養施設
無症状		

声をあげれば政治は変えられる
政府方針は撤回せよ
五輪中止 コロナ対策に総力を



東京民報
ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590
2021年8月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

#比例は

日本共産党